

資料 3

明石市民夏まつり事故調査委員会

第1回 概要

日 時 平成 13(2001)年 8 月 2 日(木) 9:30 ~ 12:05

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員、室崎益輝委員

1. 原田委員長あいさつ

まず、今回の事故により不幸にも尊い命を亡くされました方に、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。同時に事故により負傷された方に、心からお見舞いを申し上げます。

今回の事故は、群衆が集まったことにより発生した人身事故で、判例の少ないレアケースであります。今後作業を進める上では、原因の究明も含めて、難しい問題に出会うと想像されますが、幸いにも委員のメンバーは各方面のお歴々であり、一同力を合わせて、迅速適正を心がけ、また厳正公正を旨として作業に邁進したいと考えています。

委員におかれては、ご尽力ご協力をお願いするとともに、作業に際しては、明石市の尽力が必要であり、誠実に対応していただくようお願いいたします。

2. 委員紹介

3. 委員あいさつ

4. 委員会の運営について

(1) 委員会設置に至る経過等の説明を明石市当局に求めた。

- ・市は、主催者の責任として事故の原因を解析し、再発防止を図らなければならない。しかし事故の解析は、当事者である市よりも、公正で客観的な立場である第三者の専門家に厳正な調査をお願いすることにより、科学的で信頼のある結論が得られると考えこの委員会を発足させた。

(2) 会議の公開等について

- ・本委員会は討論会や批評会ではなく、当日までの事実関係について説明を受け、資料に当たりながら自由に意見を交わし、静かな雰囲気の中で思考を深めていく必要がある。また個人の氏名が出る場合もあることから、プライバシーにも考慮を働かせると、公開することにはなじまない。
- ・会議の経過については、各回の会議終了後にその概要を会見等で公表していく。発表は委員が個々に行うのは好ましくないので、窓口は一つにして、基本的に委員長が発表するようにして、副委員長が補佐を行う。

(3) 事故現場の調査について

- ・既に事故現場は個々の委員で確認済みであるので、委員会全体で確認をする必要があるとき以外は、委員の希望により個別に調査を行う。

5. 議 事

- (1) 市民夏まつりと事故の概要について、まず市の方から説明を求める。
 - ・判断が間違わないように市側の資料、情報は全部提示するように要求する。
 - ・資料に基づき、まつりの実施内容、スケジュール、自主警備体制等の説明を受けた後、質疑を行う。
- (2) 調査に必要な資料の収集等について
 - ・聴き取り調査の実施、当日までの時系列を追った事実関係の詳細についての資料の作成、提出を求める。

明石市民夏まつり事故調査委員会 第 2 回 概要

日 時 平成 13(2001)年 8 月 14 日(火) 13:10~17:30

出席委員 原田直郎委員長、石井昇委員、岡田光正委員、小越芳保委員、
室崎益輝委員

1. 第 1 回委員会の議事録確認と公開方法について

- ・議事録については、委員長とその他 1 名の委員で確認の署名を行う。
- ・議事録の公開については、本日までのところ市側の説明を受けたに止まり、警察や警備会社からの説明などを取り入れないことには、未だ作業は途中であり、この段階で会議録のすべてを公開することは、予断と偏見を持たれる可能性があることなどから、適切ではない。
- ・ホームページにおいては、委員会で審議された概要を載せていく。
- ・ホームページの立ち上げは 8 月 15 日で、情報提供の呼びかけを行う。

2. 委員会審議の進め方について

(1) 遺族からの傍聴申し入れについて

- ・第 1 回の委員会で決定したように、本委員会の方針として、公開や傍聴はその性質上なじまないと考える。

(2) 遺族の委員としての参加について

- ・委員として委嘱されている立場の我々が、発言することではない。

(3) 遺族からの聴き取り調査について

- ・事故の状況を調べるうえで、現場に居合わせた家族から状況を聴くことは貴重な資料になると考えられるので、聴き取り調査を行う。

(4) その他

- ・遺族に対する説明責任は、本来、主催者である市にあるので、その責任は市が自ら果たしていくべきである。本委員会は市の代理として調査しているのではなく、市の意向に関わりなく、あくまで独立の機関として調査している。

3. 議事

(1) 事実認定に関して

- ・夏まつり開催当日に至るまでの市と関係機関等との準備や協議経過等について、資料により調査班から説明を受ける。
- ・必要に応じ、参考人として出席要請した市職員から事実の確認を行う。

(2) 警察、警備会社への協力要請について

- ・警察に対して警備計画の提出等を依頼して協力を要請する。警備会社についても、関係者の出席等協力を要請する。

4. 次回委員会について

- ・9月2日に開催し、午前中は、事故当日の状況についての検証を行い、午後から遺族からの聴き取り調査を行う予定である。
- ・聴き取り時間が不足する場合は、遺族と出席可能な委員との日程調整を行い、実施していく。

明石市民夏まつり事故調査委員会 第3回 概要

日 時 平成 13(2001)年 9月 2日(日) 9:30～15:30

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員、室崎益輝委員(河田副委員長は、午後から欠席)

1. 事実認定に関して

(1) 警備会社からの聴き取り調査

- ・夏まつりの自主警備本部統括責任者である元請け警備会社の大阪支社長を参考人として召致し、調査班による事前の本人からの聴き取り調書をベースにして、計画・準備段階のこと、事故当日の状況、世紀越えカウントダウンイベントの時の状況などを詳しく聴いた。

(2) 市民等から提供された情報

- ・事故調査委員会が情報提供を呼びかけ、それに応じて頂いた情報のうち、当日の歩道橋内や海岸の状況、世紀越えカウントダウンイベント時の歩道橋の状況を撮影したビデオにより、状況把握を行った。

2. 遺族からの聴き取り調査について

- ・10遺族のうち、9遺族のご出席をいただき、事故当日の歩道橋の状況や警備員の配置、事故時の様子などについて聴かせていただいた。

3. 警察への協力要請について

- ・警察に対して雑踏警備計画書をはじめとする各種資料の提出等を依頼し、協力を要請する。

4. 次回委員会について

- ・事故当日の状況についての検証を、引き続き行う

明石市民夏まつり事故調査委員会

第4回 概要

日 時 平成 13(2001)年 9月 17日(月) 9:30～12:30

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員

1. 委員長記者会見のホームページへの掲載について

- ・委員会終了後の記者会見の概要を委員会のホームページに載せていく。
(第1回委員会に遡り取りまとめる。)

2. 事実認定に関して

- ・市の関係職員6名を召致して、聴き取り調査を行った。
- ・明石市民夏まつりの計画・準備段階における関係機関との協議内容等、カウントダウンイベントへの関わりやその時の状況など、第2回委員会での聴き取りの補足を行った。
- ・事故当日の歩道橋の混雑状況の把握と認識、警備会社や警察の状況、現場にいた職員の行動等について、聴き取り調査を行った。

3. 警察への協力要請について

- ・警察に対して資料提出の協力を依頼する。あわせて、警察関係者の委員会への出席を要請する。

明石市民夏まつり事故調査委員会

第5回 概要

日 時 平成 13(2001)年 9月 30日(日) 9:30～15:10

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員、室崎益輝委員

1. 事実認定に関して

(1) 警察資料の検討

- ・警察へ協力依頼を行い、提供された資料について検討を行った。
- ・カウントダウンイベント及び事前準備などについての質問書を作成して県警本部に送付し、その回答によりさらに詳しく調査を行うこととする。
- ・当日の警備状況等についても質問書を作成することとする。

2. 群集事故の技術解析について

(1) 歩道橋内の滞留者の推計について

- ・歩道橋内の滞留者について次の方法により推定した。推計方法により数字は異なるが、いずれも滞留者は、6,000人～7,000人との結果を得た。

歩道橋を3区分し、証言などから得た人口密度により滞留者を推定

歩道橋を7区分し、証言などから得た人口密度により滞留者を推定

歩道橋への流入者と流出者の差により滞留者を推定

アンケートによる移動状況から歩行速度を推定し、流入者がどれだけ残留したかを計算して滞留者を推定

(2) 群集なだれの発生要因の考察

- ・将棋倒しとの相違や群集なだれの発生メカニズム、群集なだれの原因等について議論した。

(3) 来場者数の推定について

- ・会場面積、人口密度等から歩道橋を含むピーク時の来場者数の推定を行った。ピーク時の来場者数は70,000人～80,000人と推定される。

3. 次回委員会について

- ・警察からの回答の検討、消防職員から救助活動の状況等について聴き取り等を行う。

明石市民夏まつり事故調査委員会

第6回 概要

日 時 平成13(2001)年10月21日(日) 9:30～13:50

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、小越芳保委員、室崎益輝委員

1. 事実認定に関して

(1) 救急救命活動の状況把握について

- ・消防署職員3名を召致して、聴き取り調査を行った。
- ・明石市の救急救助体制、大規模事故時への対応体制等についての説明を受ける。
- ・明石市民夏まつり計画、準備段階における主催者等との協議、当日の救急救助活動の状況や課題となった点について聴き取り調査を行った。

(2) 当日の市職員の行動について

- ・第4回委員会以降に確認された、事故当日の市の関係職員の行動についての確認を行った。

(3) カウントダウンイベント時の状況についての確認

- ・カウントダウンイベントの混雑状況などについて、関係者からの聴き取り資料の検討を行った。

2. 警察からの回答内容の検討と今後の対応について

- ・計画・準備段階での関係団体との協議内容等についての警察への質問に対する回答と新たに提出された資料について、検討を行った。
- ・さらに詳しく計画・準備段階での協議内容や事故当日の状況を調べるため、警察関係者の委員会への出席を依頼することとした。

3. 次回委員会について

- ・警察関係者の出席があれば聴き取り調査を行う。
(注：10月26日に兵庫県警から出席できないとの回答があった。)

明石市民夏まつり事故調査委員会 第7回 概要

日 時 平成 13(2001)年 10 月 30 日 (火) 9:30 ~ 12:00
出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員、室崎益輝委員

1. 事実認定に関して

(1) カウントダウンイベント時の状況についての確認

- ・カウントダウンイベントの混雑状況などについて、新たに入手した観客からの情報の確認を行った。
- ・海岸側から歩道橋を渡った方への聴き取り、朝霧駅側から歩道橋を渡った方のメールによる情報を確認し、今までの委員会における事実認定の裏付けを行った。

(2) 事故当日の警備員の活動についての確認

- ・事故当日歩道橋上の警備を担当していた警備会社からの新たな資料提供に基づき、事故に至るまでの状況の把握をさらに深めた。

2. 事故原因の解析について

(1) 事故原因及び論点とすべき事項の抽出

- ・事故原因の主軸がどこにあるのか、それに付随する周辺事項としてはどのようなものがあるのかなどについての議論を行った。

3. 調査報告書について

(1) 調査報告書の構成についての検討

- ・調査委員会としての結論となる調査報告書の骨子についての検討を行い、次回委員会に各委員の原案を持ち寄って決定していくこととした。

4. 警察からの回答内容の検討と今後の対応について

- ・兵庫県警に対して事故関係者の出席を要請していたが、10月26日付で出席できない旨の回答があったことに対する検討、今後の対応等について協議を行った。
- ・21世紀の開かれた警察を目指すならば、捜査中であるということを超えて、もっと真実の解明に協力することが必要ではないかとの意見があった。

- ・今後作業を進めていき、さらに確認したい部分が出てきた場合に、再度協力要請することとした。

5. 次回委員会について

- ・次回（第8回）委員会は、11月11日（日）午前9時30分からとし、調査報告書の骨子についての検討を行う。
- ・第9回委員会は11月18日（日）、第10回委員会は11月27日（火）のそれぞれ午前9時30分から開催することとした。

明石市民夏まつり事故調査委員会 第8回 概要

日 時 平成13(2001)年11月11日（日） 9:30～12:50

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、小越芳保委員

1. 事実認定に関して

(1) カウントダウンイベント時の状況についての確認

- ・カウントダウンイベントの混雑状況などについて、当時の警備員からの情報により確認を行った。

(2) 夜店周辺の混雑状況についての確認

- ・夜店周辺の混雑状況などについて、事故当日夜店周辺にいた観客からの情報により確認を行った。

2. 事故原因の解析について

(1) 他市の花火大会の現状について

- ・明石市と他市との花火大会における事前準備、当日の警備体制などの比較を行い、問題点の抽出を行った。

3. 調査報告書について

(1) 調査報告書の構成についての検討

- ・各委員が持ち寄った原案を吟味し、報告書の主軸となる部分についての意見交換や、まとめていくにあたっての方向性などの議論を行った。

4. 次回委員会について

- ・第9回委員会は、11月18日（日）午前9時30分からとし、調査報告書の内容について、さらに議論を深めていく。

明石市民夏まつり事故調査委員会

第 9 回 概要

日 時 平成 13(2001)年 11 月 18 日(日) 9:30～13:30

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員、室崎益輝委員

1．事実認定に関して

(1) 実施運営本部周辺の状況についての確認

・夏まつり実施運営本部周辺の状況などについて、そこに居た者からの情報により確認を行った。

(2) 無線機電波状態についての確認

・事故当日の無線機、携帯電話の電波状態がどのようなであったかについて、無線システムの
専門家からの情報により確認を行った。

2．調査報告書について

(1) 調査報告書の起草

・各委員が持ち寄った原案についての意見交換、事実関係の確認などを行い、報告書の全体構成をどのようにするかなどの議論を行った。

3．次回委員会について

・次回(第 10 回)委員会は、11 月 27 日(火)午前 9 時 30 分からとし、調査報告書の内容について、さらに議論を深めていく。

明石市民夏まつり事故調査委員会

第 10 回 概要

日 時 平成 13(2001)年 11 月 27 日(火) 9:30～13:10

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員

1．事実認定に関して

(1) 事故発生時刻についての検証

・今まで報道等により午後 8 時 40 分ころとされていた事故発生時刻について、ビデオ映像などによって改めて検証を行い、午後 8 時 45 分以降ではないかと確認した。

2．調査報告書について

(1) 調査報告書の論点整理

・各委員が持ち寄った原案を検討し、重複している内容の調整、掲載順序などについて意見交換を行い、調査報告書の構成をほぼ固めた。

3. 次回委員会について

- ・次回(第11回)委員会は、12月7日(金)午前9時30分からとし、調査報告書の内容について、さらに議論を深めていく。

明石市民夏まつり事故調査委員会 第11回 概要

日 時 平成13(2001)年12月7日(金) 9:30~13:00
出席委員 原田直郎委員長、石井昇委員、岡田光正委員、室崎益輝委員
小越芳保委員

1. 事実認定に関して

(1) 事故発生時刻についての検証

- ・午後8時45分以降ではないかとしていた事故発生時刻について、負傷者からの聴き取り調査によりさらに検証を深め、午後8時45分ころから午後8時50分過ぎころに発生したと認定した。

2. 調査報告書について

(1) 調査報告書の内容検討

- ・調査報告書の内容に関して、各委員相互で確認を行うとともに、個人名の表記方法、地図における地名等の表示方法などについての協議を行った。

3. 遺族からの要望について

(1) 「明石歩道橋犠牲者の会」からの要望に対する回答

- ・標記の要望について検討した結果、調査報告書を市長に提出した後速やかに遺族に対して内容の説明を行うこととし、同時に9月2日に遺族から提出された質問状についての回答を行うこととした。

4. 次回委員会について

- ・次回(第12回)委員会は、12月15日(土)午前9時30分からとし、調査報告書の内容について、さらに議論を深めていく。

明石市民夏まつり事故調査委員会 第12回 概要

日 時 平成13(2001)年12月15日(土) 9:30~12:30
出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
室崎益輝委員、小越芳保委員

1. 調査報告書について

(1) 調査報告書の内容検討

- ・調査報告書の内容に関して、各委員の持ち寄った草稿に齟齬がないように確認しあい、全体としての整合性を図った。

2. 次回委員会について

- ・次回(第13回)委員会は、12月22日(土)午前9時30分からとし、調査報告書の内容について、さらに議論を深めていく。
- ・調査報告書の完成にさらに日数を要することから、1月にも委員会を開くことを決定し、次のとおりの日程とした。第14回:1月15日(火)、第15回:1月30日(水)のいずれも午前9時30分から

明石市民夏まつり事故調査委員会
第13回 概要

日 時 平成13(2001)年12月22日(土) 9:30~13:10

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
室崎益輝委員、小越芳保委員

1. 調査報告書について

(1) 調査報告書の内容検討

- ・調査報告書の構成を第1部(事故原因の調査と判断)、第2部(技術的解析)、第3部(将来への提言)というような3部構成にすることを決定した。

(2) 調査報告書資料編の内容検討

- ・調査報告書内容の裏付けとなる資料について、資料編として報告書本編に添付することとし、添付すべき資料の内容を検討した。

2. 警察からの報告書内容の検討について

- ・兵庫県警から提出があった調査状況報告書について検討を行い、先に提出された同報告書との相違点などについての確認を行った。

3. 次回委員会について

- ・次回(第14回)委員会は、1月15日(火)午前9時30分からとし、調査報告書の内容をほぼ固めることとする。

明石市民夏まつり事故調査委員会
第14回 概要

日 時 平成14(2002)年1月15日(火) 9:30~13:15

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
小越芳保委員

1．調査報告書について

- ・調査報告書の内容について、各委員が細部にわたり確認を行い、報告書の全容をほぼまとめ終えた。

2．遺族からの要望について

- ・1月15日に遺族から提出のあった要望事項について検討を行い、2月11日に遺族に対して報告書の説明会を開催することとした。

3．次回委員会について

- ・次回（第15回）委員会は、1月30日（水）午前10時からとし、調査報告書の最終確認を行い、市長に提出する。

明石市民夏まつり事故調査委員会
第15回 概要

日 時 平成14(2002)年1月30日（水） 10:00～12:00

出席委員 原田直郎委員長、河田恵昭副委員長、石井昇委員、岡田光正委員、
室崎益輝委員、小越芳保委員

1．調査報告書について

- ・調査報告書の内容についての最終確認を行い、市長へ提出した。